

經濟論叢

第 129 卷 第 3 号

哀 辞

故堀江英一名誉教授遺影および略歴

高年労働者対策に関する一考察……………前 川 嘉 一 1

ファッション戦略, 組織間関係, 組織行動
および企業業績……………赤 岡 功 15

ペルー海岸部アシエンダの近代化について……………竹 内 勉 40

交換性回復と先物為替市場介入……………羽 鳥 敬 彦 59

関一と大阪市営事業……………関 野 満 夫 77

追 憶 文

堀江英一先生の人柄と学問……………後 藤 靖 97

工場から企業へ——堀江先生の晩年のお仕事…下 谷 政 弘 103

昭和 57 年 3 月

京 都 大 学 經 濟 學 會

哀 辞

本学名誉教授 堀江英一先生は 去る1981年11月3日に逝去されました ここに謹んで哀悼の意を表します

先生は 1937年に京都帝国大学経済学部をご卒業になり 39年経済学部助手 40年講師 47年助教授を経て 57年教授となられ 76年退官されるまで 研究と教育および後進の養成に尽力されました その間1964年1月から1か年間 69年1月から1か年間経済学部長の重責を担われたのをはじめ 大学行政の面でも大きな貢献をされました ご退官後は名城大学教授となられ 逝去されるまで研究と教育に精進されました 先生は永年にわたる研究のなかで 経済史 経営史 経済理論などの分野で大きな業績を残されました その主要なものは 幕末経済発展段階論 明治維新論 ブルジョア革命の理論 資本主義社会の構造分析理論 現代巨大企業と独占についての理論的 実証的研究であります これらの研究は 「近代産業史研究」 「封建社会における資本の存在形態」 「明治維新の社会構造」 「産業資本主義の構造理論」をはじめとする多くの著書 論文に発表され 学界から高く評価されております

経済学部 に在職中 多くの子弟を教育され また本誌にも多数の貴重な論文を発表され わが学会のため ことのほかご尽力をいただきました 茲に 先生の御冥福をこころからお祈り申し上げます

1982年1月25日

京都大学経済学会